

特集 今!!図書室 改めて読書に

読書は学力・言語力の育成のために必要といわれる中、もっと図書室を利用してもらいたい、図書に触れてもそこで、現在の状況と活動の様子をご紹介いただきます

がおもしろい について考えよう!

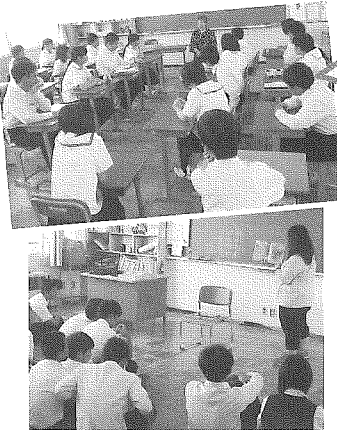
若者の読書離れが深刻な社会問題といわれております。raitaito、さまざまな活動が行なわれております。した。



前期図書委員長 溝越 莉子
ボランティアで読み聞かせをして下さっている方々の読み聞かせはとてもおもしろく、本の世界に入りこんで本のキャラをよりおもしろくさせてくれます。これからも新中での読み聞かせをよろしく願います。

この読み聞かせて、生徒たちはこのように感じています。

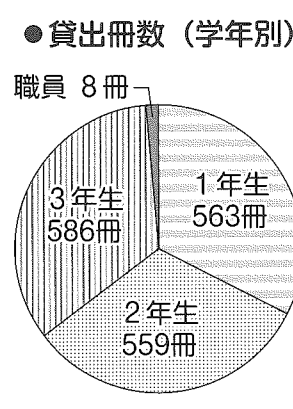
ボランティア代表 早坂 佳子
今年度の心の日の全校一斉の朝の読み聞かせは、小中学校の保護者や地域の人など十五人で活動をしています。読むのは主に絵本で、小学生のような大きな反応はありませんが楽しんでもらっているようです。来年度はもっとたくさんさんのメンバーで活動していきたいです。



ボランティアで「読み聞かせ」をしていたらいてる皆さんより活動の様子を聞いてみました。

●もっとも多く読まれた本は？
「ぼくたちと駐在さんの七〇〇日戦争」シリーズ
(調査期間 平成二十七年四月～九月)

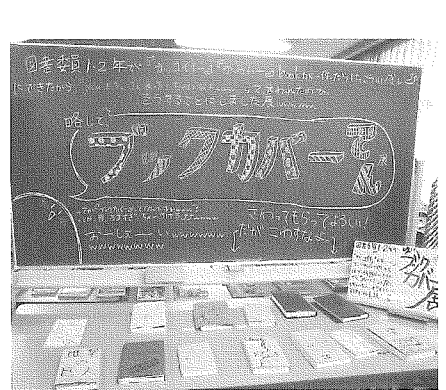
- もっとも多く読まれた著者は？
第一位 ママチャリ
第二位 西尾 維新
第三位 加来 耕三



●一人当たりの貸し出し平均 (合計÷全校生徒数)
一人当たり 約六冊

●貸し出し冊数合計
一、七二六冊

「一月でどのくらい本を読んでいるか？」



夏と秋に行われた「図書フェス」三年生が「本に書かれてあることを実際にやってみたらどうなるだろう」という実証動画を作り、一・二年生は本を自分好みにカスタマイズして飾る「マイブックカバー」を製作し展示しました。



図書委員会では、こんな活動もしています。

私が中学生のころの図書室は人の寄りつかない「たまに授業で使う部屋」でしかありませんでした。私自身、休み時間に図書室に行ったという記憶がありません。
図書室のお姉さんとして新庄中学校に赴任して五年目になりましたが、本を借りる人はもちろん、本を借りない人も気軽に立ち寄れる「みんなの居場所」としての図書室づくりを目指して、図書担当の先生や図書委員会の生徒と連携しながら、試行錯誤の毎日です。
五年前に比べて、「図書室を利用する人が増えたなあ。」と感じます。本を借りに来たり、読書や勉強の為に図書室に来る生徒はもちろんですが、学年男女問わず、いろんな生徒が集まり、友達どうしで雑談していたり、絵を描いたり、ミッケというゲーム絵本に夢中になっていたり、みんなそれぞれ好きなことを図書室に来てやっています。中学生が集団で絵本に真剣になってる姿を見るととてもほっこりとした気持ちになります。

私が中学生のころの図書室は人の寄りつかない「たまに授業で使う部屋」でしかありませんでした。私自身、休み時間に図書室に行ったという記憶がありません。
図書室のお姉さんとして新庄中学校に赴任して五年目になりましたが、本を借りる人はもちろん、本を借りない人も気軽に立ち寄れる「みんなの居場所」としての図書室づくりを目指して、図書担当の先生や図書委員会の生徒と連携しながら、試行錯誤の毎日です。
五年前に比べて、「図書室を利用する人が増えたなあ。」と感じます。本を借りに来たり、読書や勉強の為に図書室に来る生徒はもちろんですが、学年男女問わず、いろんな生徒が集まり、友達どうしで雑談していたり、絵を描いたり、ミッケというゲーム絵本に夢中になっていたり、みんなそれぞれ好きなことを図書室に来てやっています。中学生が集団で絵本に真剣になってる姿を見るととてもほっこりとした気持ちになります。

地域コーディネーターで図書室担当の早坂淳美さんに現在の図書利用に関して聞いてみました。

前期図書委員長 溝越 莉子
ミステリー好きでなくてもおもしろく読むことができる本です。是非読んでみて下さい。
謎解きは
デザイナーのあとで
東川 篤哉

ボランティア代表 早坂 佳子
人と関わる時に、自分の考えを押しつけてしまわないように戒めとしている絵本です。
はやくはやくって
いわなすね
益田 ミリ 作
平澤 一平 絵

図書委員会担当 和田 藍子先生
なぜ勉強しなければいけないのか「誰もが一度は思うこの疑問に答えをくれる一冊です。勉強が楽しくなりますよ。」
手紙屋雪雪篇
私の受験勉強を
変えた十通の手紙
喜多川 泰



●最優秀作品
「太宰の残したものの」
「太宰治『人間失格』を読んで」
一年 荒澤 美紅
葉蔵の生き方や、それを通して見えた太宰自身の生き方、考え方を知り、私にはある決意が生まれた。自分の気持ちを裏切らない、ということだ。弱いところを見せたくなくて強がってしまふこともあるだろう。しかしそれも私の生き方の一部だ。嘘をつくことは、自分を否定することだと思ふ。
(ともに、感想文より「部抜粋」)
〈指導〉高久先生

地区優秀作品
「私が見つけた幸福」
「芥川龍之介『杜子春』を読んで」
一年 井上 朋香
私は今、様々な感情の中で生きています。この感情こそが大切なのだと、芥川から学んだ。(中略) 杜子春を芥川が救ったように、私も杜子春に出会うことで、自分の感情に出会うことができた。(中略) 私の幸せは、様々な感情を持っていること、そしてそれが愛情に支えられていることにある。

表彰されたすばらしい作品をご紹介します。